

刊夕 日五十月八

# 常磐每日新聞

定額 一部全額 五拾五圓 郵税五圓  
 廣告料 五圓 十二字 一行 五拾圓  
 日曜祭日の翌日休刊  
 發行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日印刷株式會社

## 有識者の反省

磐岳 迂人

金をくれとか、物をくれとか、正直に云はないで、何とか物を売りつけに来るものがある。これは何々の立派な書物である、お買ひになつて爲になる。これはよい事業だから、是非賛成してもらひたい、とか何とか、云はゞ強制的の物乞ひ物貰ひは澤山にある。退いて同情してやれば、困つたからには相違あるまいが、さうとは云はずに、一通りの理窟を云つと行く、道理はそれ／＼よいことである悪いことを云つて人に物を乞ふものもない筈である。しかし、それは理窟であり

## ノート

珈琲や紅茶を進める時は茶碗の把手を客から見えない方になるやうに置くのが作法

云ひ前であつて、實際の心情とは違ふ、世間に通るやうな理窟を云つて歩いて、自分の都合いゝやうに引き寄せるだけであり、自分の云つてゐるだけのことを見剣に行つてゐるのではないこれは押し賣業者の例であ

るが、こんなやうな心理状態はこれだけの人には限らない。遍く今日行はれてゐる心理状態ではないか。思想家とか、學者とか、教育家とか云ふ所謂インテリ階級の人々も、結局それと類似的の心理状態にあるものが多いではないか、徒らに言

## 明日の献立

- 【朝】 味噌汁——馬鈴薯 小付 焼のり
- 【晝】 から煮 いんげん
- 【晚】 冷奴 花かつを 焼肉 ソース

論多くして実績舉らないのはそれが爲めではないか、結局眞の性格から溢れ出た乃至は腹の底まで滲み込んでゐる議論が云ひ交されないので、通り一遍の、否通り一遍でなく考へられたにしても、縁日の植木のやうに云はゞ上手に思想が並べられたので、本當に其の人に根のついてゐない思想が語られるのではないかと、ひそかに心配する。

ねいこの花びら私なめたあとを  
 たれかなめたなら  
 しやくやくの花びらに口べにが  
 うつすらとのこる  
 私は甘すつばいしやくやくの花片を  
 心ゆくまでなめたなら  
 しやくやくの花をなめた女が  
 なつかしくなつて来た  
 つゝじヶ丘

ねいこの花びら私なめたあとを  
 たれかなめたなら  
 しやくやくの花びらに口べにが  
 うつすらとのこる  
 私は甘すつばいしやくやくの花片を  
 心ゆくまでなめたなら  
 しやくやくの花をなめた女が  
 なつかしくなつて来た  
 つゝじヶ丘

## 春野 泉法

つゝじヶ丘へ今日も来て  
 淡いお月様と泣いてゐた  
 つゝじヶ丘の盛りばな  
 燃える血潮となにかわろ  
 つゝじヶ丘アわしがこ  
 と  
 胸の想ひよあかくと  
 桐の花  
 津加多生

お前には若い母親の  
 乳くさいふところの匂ひ  
 がある  
 おまへには懐しい郷土の  
 香りがあ  
 なつかしい白色にまぜた  
 薄紫の花！  
 青い廣葉のかげに薫る純  
 情よ！  
 桐の花よ  
 わたしの心は  
 おまへの甘すつばい香り  
 にとけて

ねいこの花びら私なめたあとを  
 たれかなめたなら  
 しやくやくの花びらに口べにが  
 うつすらとのこる  
 私は甘すつばいしやくやくの花片を  
 心ゆくまでなめたなら  
 しやくやくの花をなめた女が  
 なつかしくなつて来た  
 つゝじヶ丘

是非！  
 御融通には御利用下さい  
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店  
 平四・電六〇六番

玉屋洋品店  
 平町田町通電話五六六番



●店員募集  
 年齢十五、六才、希望者は至急来店あれ

耳鼻咽喉科専門  
 大和田醫院  
 平町南町一六電話七一〇番

提灯  
 御新佛の戒名人 大勉強  
 岐阜提灯各種

スガノヤ提灯店  
 平四、電九五番

佛檀 位牌 佛具 特賣

早い目が御得です、品種豊富、撰擇御自由、  
 平町三丁目三六(北裏)

共榮漆器店

体温計の検査日です  
 10日 検新機設  
 お宅の体温計は？  
 ◎正確な体温計を御使用下さい  
 ◎毎月十日の検査日御利用下さい

西村屋藥局  
 電三番

父白鴻院新益佛事上小川村生家に  
 於いて相營可申候處誠に勝手乍供  
 物一切辭退申上候

白井一郎

高久病院

院長 醫學士 高久 忠  
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科  
 耳鼻咽喉科 レントゲン科  
 平町田町 電話五一三番

### 平町の稲作豫想

## 三百石減収か

### 半作が十二町歩に上る 悲惨な小作農

平町役場農商課では最近町内の全耕地九十七町歩に就て今年度稲作收獲豫想を調査したがその結果によると全耕地のうち卅五町歩だけが平年作以上で反當り二石九升の收獲を豫想されるがその他は

△收獲七割以上一五十町歩(反當一石七斗七升)△五割以上一十町歩(反當二斗五升)△三割以上一十町歩(反當八斗三升)

で合計九十七町歩から二千二十七石の收獲は間違ひないとい判明したが天候不順は矢張り平のお百姓さんにも崇つて平年作から見ると二百七十石の減収である

### 夏秋繭の走り

## 三坂の五百貫

買馴一圓五十六錢

郡下に於ける夏繭繭取引の皮切りは去る十三日三坂村中三坂部落で五百廿貫を取引されたが最高二圓六錢、最低一圓六十錢、馴一圓五十六錢、十七掛の相場であるが春繭以來の暴落續きで同取引相場は例年に比して三分の一と云ふ有様であつたと、尙郡下の出廻は廿日頃迄であらうと

### 土木委員會

## 十七日招集

平町では来る十七日午後一時より役場會議室に土木委員會を開き左記案を協議する

- 一、道路専用願出の件
- 一、廢止道路敷地處分の件

### 經濟更生指導

既報縣では經濟更生指定村である入遠野村で十六日縣の成島技師が出張更生事務の指導を行ふが尙十七日大浦十八日草野十九日平窪等では經濟更生に關する映畫會を開催する

### 休息日を制定

## 修養に志す

### 更生の大計を確立して 躍進する渡邊村

### 興村一

渡邊村では本年度經濟更生指定村に編入されたのを記念すべく去る十三日更生委員四十餘名が村役場に參集協議の結果四

### けん爛五彩の吹流し

## 七夕祭りの壯觀 踊れ、盆近し

牽牛・織女——傳説の男女星が年一度「天の川」を渡つて一夜の逢瀬を樂しむといふ……七夕祭り「平五萬石」傳統的行事舊盆松焚きが平町文化の「躍進第一歩」鋪道保護の犠牲となつて

とになり今後毎月十六日を同村の興村デーと定め當日は全村民が公休、午前中は小學校で地方名士其他の講

### 綴方教育の全般に就き

## 郡下訓導の講習

### 「教材王國」編輯主任の指導で

既報郡下各小學校職員の新綴方教育講習會は来る二十七日より三日間平第一小學校講堂に於て開催されるが講師は「教材王國」編輯主任栗原登氏で講習要項は綴方教育の新思潮、綴方教育の價值、創作指導、鑑賞と觀照、詩の指導、低中、高各學年指導の實際、綴方指導体系、綴方教育の教師論等々である

### 産馬組合長

石城産 安島氏重任 馬畜産

組合では昨十四日午前十時より團体事務所樓上で評議員會を開いたが午後一時よりは任期满了となつた組合

### 三間餘の青竹に五彩繡爛の吹流し

の吹流し、二尺四方の大賽ころ點々七色の豆電燈——色彩まばゆき裝飾も了して一丁目から四丁目の大通り他家との競争だ。

### 色街——新田町傾斜の巷

は表現美に巧みな紅裙連のか細き白魚の指に作られた短冊、吹流し、七彩の籠玉等、細さの通りは全く「七

演會を開いて修養に努める事に決定したが今後同村の更生振りは多に期待されて居る

### 望展マネシ

### 八月十五日

夏枯れ！ 過般の雨天續きには左程痛手は蒙らなかつたが昨今の炎暑に遂に平館、世界館ともに夏枯れの悲運に逢着した、そこで兩館とも十錢興行を敢行したがこの週間第一の捨ひものは何んと云つても世界館の「出來心」である、常に良心的な作品を發表して

### 映畫界に衝動を興へてゐる

新鋭異才小津安二郎監督が「生れては見たけれど」と並び稱する、最大傑作、昨年度邦畫ベスト・テン第一位の名畫である、笑ひとペーソスの中に小市民の心境を織り込んだもの、名優坂本武と突貫小僧の名演技！待望一年に近き映畫——盆興行を控へて平映畫界のロングヒットだ

### 世界館

松竹下加茂冬島 泰三監督 阪東橋之助、井上雲子主演「南蠻撫子」

### 松竹蒲田

小津安二郎監督 大日方傳、伏見信子主演「出來心」新與現代劇 壽々喜多呂九平監督 中野英治、高田稔主演「春の目醒め」

### 平館

日活時代劇 譯村國太郎、鈴村京子主演「仇討二番原」日活現代劇 明朗篇 杉狂児、山田五十鈴主演「嬉しい娘」日活 特作 時代劇監督 清瀬英次郎、阪東勝太郎、花

膳の紙夜姿が若者の中に魅惑があるらしい、盆は近いぞ！ 踊れ若者！ 櫓の準備に急がしい。

### なかや洋服店

七夕サービス 三丁なかや洋服店では例年七夕祭りに際し最新奇抜な裝飾を以て人目を引くが今年も亦店頭狭き迄に電燈裝置の飾り付けをなしたが同店では七夕のお祝ひとして今明の二日間來店の子供達に七夕風船を進呈すると

井蘭子主演「すてうり勤兵衛」

### 平町 人事

婚姻 婚

△古鍛冶町七五 當時東京市淺草區鳥越町二ノ六武田竹松(四二)東京市深川區東陽町一ノ一淺岡マサ(四三)

△北目町四 石川ソメ(七九)

△死 亡

一册の代金で 御希望通りな 五册の雑誌が 自由に讀める 川崎巡 文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

やな川

季節鳥料理

魚菜へ

平田町 電話四二四 配達迅速

# 連日の暑さに給水量

## 俄然急ピツチで激増

### 去月の大減収を取戻すか

去月以來曇天と冷氣で夏物の氷屋さん同様氣を腐らして居たものに平町の水道部がある、何しろ例年なら暑さに比例して水道使用のメーターも昇れば使用料金も激増して吏員の賞與袋も重くならうと云ふのに何んと今年には未曾有の赤字！一日平均の使用水道量一千六百三萬方米去月は前年同期に比し約八百圓の大減収で大体十月頃の使用量と大差なく弱り抜いてゐた所俄然去

る十二日から挽回初めた天候はカン／＼照り初めて夏の氣配を取り戻した爲め水道部使用計量も急ピツチでメーターを上げ十二日には三千八百五十二立方方、更に十三日は四千二百六立方、昨十四日には四千八百卅二立方と日毎に計量器は繰上りを續け初めたこの勢ひでは去月の大減収を取戻すのも容易であらうと係員は大喜びである

### 『月よりの使者』に護られ

## 闘病者五十名

### 回春院の蒼白き避暑客

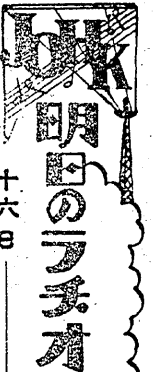
平署衛生係で最近調査した豊岡村縣立回春院の入院患者は現在五十二名で男四十五名、女八名が避暑客ならぬ青松白砂の海岸を看護婦に護られて朝夕散歩しつゝあるが地方別に見た患者は石城二八 福島五 双葉相馬各四 西白河二 東白河 岩瀬 安達 信夫 伊達 大沼 南北會津各一

### 小學校へ寄附

#### 四氏縣から

#### 褒狀授與

平町武田コウ、湯本町鈴木稻實、入遠野村大谷長藏、貝泊村御所脇虎吉の四氏は過般各地元小學校資金にと各二百圓の寄附をしたので



今晚の部  
後六、〇〇(子供の時間) 名作物語「アラデインの不思議なプラン」(四) 東京放送童話研究会 談十三選(五) 稀音家 六四郎 後八、〇〇 浪花節「安兵衛婿入り」春日井梅鶯 後八、四〇 歌謡曲 小梅 これが豫習を行ふ

### 今夜の部

この程縣から褒狀を授與された  
草野點呼豫習 草野村簡閱点呼は来る二十日同村小學校に於いて執行されるが明十六及び十九の兩日

### 静夜一堂に會して

## 精神の修養を圖る

### けふ第三校の夜間學校

平第三小學校では今十五日午後九時より習朝四時半迄五、六學年の男女希望児童を同校講堂に召集して夜間學校を開催、童話會、小學藝會、靜座、レコードコンサート等を催すが終つて同校より飯野村龍門寺に至る夜間行軍を試み同所に於いて

### 妊娠の妻を捨て

## 義妹と戀の道行

### 石城地方に避暑潜伏が

東京市荏原區小山町三〇五二時計商中野覺太郎(三三)は來月五日同人の妻ユキ(三〇)が妊娠中なので家事を手傳ひに来て居た妻の妹フク(三三)と情を通じ他國で愛の

今晚も明日も南西の風晴

### コロンビア合唱團

後九、〇〇 各地盆踊り(仙臺市西公園より中繼) 後九、一五 盆踊實況 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

### 明日の部

前六、三〇 夏期英語講座(二の二)清野鳴一郎 前七、二〇 聖典講義(四) 高島米峰 願出た

### 裁判所たより

好間村大字上好間守稻荷下一三理髮業今野秀吉(〇)は去る六月九日同村山林より

### 法廷から見た炎暑

## 自動車事故激増

### 運転手が不注意の結果

目下平檢事届に於ける審理事件数は私文書偽造行使、詐欺、傷害、業務上横領、賭博、窃盜、自動車事故等であるが最も多いのは自動車事故でこれはいづれも炎暑の爲め運転上倦怠を來し不注意に依る結果であると見られてゐる

### 平職業紹介所報告

求人を求める方  
△女中 廿才 高卒 月十圓位  
△鍛冶工 四十以下 尋卒 給料面談

前七、四〇 六年生の伊藤徳郎(第三日)嵯峨天龍寺本堂より中繼 前八、五〇 野玉試合實況(第廿回)全國中等學校優勝野球大會甲子園より中繼 前九、一〇 料理献立 中村彪 前九、三〇 郷土料理 普茶料理黄檗山白雲庵主人林春隆 後〇、〇五 ハーモニカ 山葉ハーモニカバンド 後〇、二五 合唱 コーロ コスモ

### 後五、三五 講演

皇の聖徳を仰ぎて 男爵井上清純 後六、〇〇 子供の時間 お話 神田阿禮平村治徳 後六、二五 趣味講座 奥の細道を辿る 七石田元季 後七、三〇 趣味の話藝談 十二選六 後八、〇〇 ラヂオレヴュイカイエダムール大阪松竹少女歌劇 後八、四〇 講談「木下藤吉郎富士川の初陣」大島右圓 後九、〇〇 月の輪神事と安來節競演會實況島根縣安來町より中繼

# 宗正らひた

美味！ 芳醇！

山崎合名會社 電話一〇番

## 中村齒科醫院

平町鍛冶町七

# 新音頭

(續前次上段及上段)

田邊南龍(作)  
山本英春(書)

一〇〇

長兵衛にケチを(二)

長兵衛刀を鞘に納めてニツコリ笑つて居るところへ奥から五兵衛出て来て

『何うも長兵衛さん有難う存じます、私がかねて長兵衛さんだと思つて居りました、この水浴びせと云ふのが年々ありますと、物持町人が大變に迷惑をいたします』

『ナニニ水浴びせなんてえ事は私が骨を折つてこれかからないやうにして上ます』  
『さあ若い者皆な出て来いエエ皆な逃げてしまつたら……』

一同は心得たりと、各々強くなりまして得物々々を提げて見世へ出て来る。

『いゝや固より私は斬る氣はないのだから、追掛けるには及ばん、決して御心配無用……何しろ旦那はみつともないから奥へ入つしやるやう』  
『へエ』

と見世の者や親類の者を連れて五兵衛は奥へ這入る長兵衛は見世で酒を飲んでゐると、戸外へ一人立ち二人立ちガヤ／＼集まつて参りまして

『何でございます』  
『やあ何うもえらい事……』

『俺やあ天神前に居る……貴方は』

『俺の宇治川』

『貴方は』

『俺は玉造り』

『皆さう云へば大阪の衆達でございます、土地の者を賞めないで、關東の長兵衛さんをえらいと云ふのは、何ふ譯でございます』

『えらいからえらい』

『そんな事を言つて大川町の鹿島屋さんの水浴びせを御覽なすつたか』

『まだ見ません』

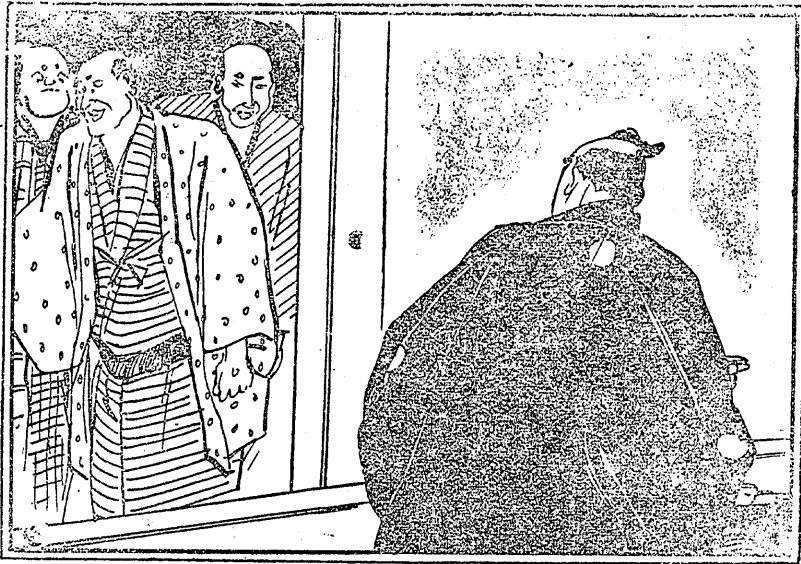
『ソレ御覽なさい、大阪三

う／＼幾久しう御目出度うございませと云つて、皆んなシャンシャン手を叩いて目度度／＼の若松さんヨ枝も繁ると云つて溫和く歸る長兵衛さんの方の言葉では歸らないから刀を抜きなすつた、口で返した藤兵衛さんがえらいか、刀を振つて追返した長兵衛さんがえらいか、先づ私の考へでは長兵衛さんの方は取るに足らんと思ふ、譬へて云つて見れば、長兵衛さんは福島で藤兵衛さんは加藤清正公か、三國誌でいへば長兵衛さんは燕人張飛、藤兵衛さんは玄徳だ』

『成程それに違ひない』

『御道理の仰せ、如何にも長兵衛さんは勇があつて御威光がない、こんな人を見るも汚らひしい、さあ行かう』

『何でございます……』  
『何ですつて和郎さん、幡隨院の長兵衛さんがかうかうでございます』  
『へエ……流石幡隨院長兵衛さんだ、えらい事をしましたなあ』



『アアワツと云つて門口で賞めて居る、スルと』

『貴方何處でございます』

『私は大阪でございます』

『大阪は何處……』

『大阪千日前……貴方何處……』

郷の若い者が、鹿島屋さんへ押して来れば、藤兵衛さんが僅か一言能く来て呉れた、當家の御名代は私だ祝つて戻つて呉れるやうにと云ふと、ドツト来た三百人ばかりのもの、御目出度

## 木村外科科專門醫院

自炊入院の便あり  
平町三丁目六番九  
電話三〇九

## 市原醫院

平町 田町  
電話一四四番

## 貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか

## 本會を御利用下さい

直に家政婦を派出します

親切 料金は極めて低廉で  
町 妊産婦の御家庭 お留守居番  
御病人の付添 年寄やお子さんの付添  
炊事や雑用

## 派出多忙に付會員至急募集

平町紺屋町二(電話二二番)

## 上原家政婦會

會主 産婆 上原通子

## 開業 内科一般川井安子

川井内科診療所  
平町南町六五(舊居)  
電話二四三番

## 貸切の御用命は

ぜひ・三井自動車部へ!!!  
電話六八五番

◎乗合は好間、合戸、澤渡方面行

## すばらしい新型の

## 婦人子供服豊富

一流デパート専屬の婦人子供服製造元よりの直仕入たる新型服は店內豊富に陳列してございます。夜の御散歩には是非店内を御自由に御覽下さい。  
平町二丁目

## 山家メリヤス店

電話六〇五番

## 喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

平町 町九六

## 喜多流 白土會

◇詳細は本會へ御電話下さい  
電話二二七番